

審査基準

1 第1次審査

ア 審査委員審査項目

審査項目	審査基準	配点
理解度	市場動向を踏まえ、本市のふるさと納税の状況を的確に分析・把握しているか。	80
業務体制	本市専属の担当者を配置するなど、課題や要望に対して素早い対応が可能な実施体制となっているか。	
	全体業務管理を行う総括責任者をはじめ、各業務に精通した人材を配置し、迅速かつ円滑に業務を遂行できる体制が組み込まれているか。	
	寄附者や返礼品提供事業者からの問合せやトラブルに迅速かつ円滑に対応できる体制が整っているか。	
独自性	仕様書に定めのない独自提案や自社ならではの強みなどで、本市のふるさと応援寄附事業に有益であると認める提案があるか。	
計		80

イ 事務局算定項目

審査項目	算定基準	配点
業務実績	令和2年度から令和4年度までの過去3年間の業務実績（様式3）により評価	10
見積金額	配点×（全企画提案者中最低基本委託料率）／（当該企画提案者基本委託料率） ※企画提案者が1者の場合、配点は6点（基準の6割）	10
計		20
合計		100

2 第2次審査

ア 審査委員審査項目

審査項目	審査内容	配点
実効性・実現性	提案全体を通じて実現可能な内容となっているか。	100
寄附金額の増加に向けた取組	新たな返礼品の企画開発や既存返礼品の魅力向上に向けた取組について具体的な提案があるか。	
	ポータルサイト内の返礼品の画像入替えや加工など、返礼品の訴求力を高める取組について具体的な提案があるか。	
	本市の返礼品の魅力がより多くの寄附者に伝わるなど、寄附額の増加に資する取組みの提案があるか。	
プロモーション活動	専門的知見やアイデアを活かし、寄附促進につながる効果的なプロモーションが実施できるか。	
プレゼンテーション	プレゼンテーションが分かりやすく、提案内容に説得力があるか。また、質疑に対する的確な応答であるか。	
合計		100

3 配点及び評価

ア 第1次審査 500点（80点×5委員+事務局算定20点×5）

イ 第2次審査 500点（100点×5委員）

ウ 第1次審査及び第2次審査の合計1,000点で評価を行う。